



生誕100年 八木義徳の世界 ⑨

# 血と土とそして海の風から

八木義徳をめぐって (3) — ふるさとの「港の文学館」 —

測量山を左手に望みながら祝津・絵柄方面に向かって進み、旧室蘭駅舎を過ぎると、ほどなく問屋の坂が見えてくる。幼い日より八木義徳も幾度となく往復したであろうその坂の前を少し行くと、かつての海員会館を譲り受け、昭和63年10月に開館した「港の文学館」がある。札幌市、小樽市に続く道内3番目の文学館だ。当初は「市立室蘭図書館附属文学資料館」として開館したが、開館に奔走した人々が「港の文学館」の愛称で呼ぶようになり館の名前となった。

この文学館の設立運動は、それに先立つ10年程前に、北海道文学館（札幌市）が本市で開催した『風土の中の文学碑展』がきっかけである。展示のため集められた室蘭の文学資料が閉展後、保管する場が無く散逸してしまつたため、それらの収集と保管を目的に集まつた有志が、昭和57年2月に設立期成会を発足。同年7月に図書館内に文学資料室を開設した。

文学館開館に向けて、八木義徳が果たした役割は大きい。設立期成会は、八木文学を市民に知ってもらおうと『八木義徳文学展』を企画したが、協力をお願いした八木からの返信には「八木文学展はやめてください。それは作家が亡くなってからするもので、私はまだ現役で

す」とあった。設立期成会は、八木の単独展を諦め『八木義徳と北海道芥川賞作家展』に衣替えして開くことにしたが、一度断られている八木には話せないでいた。当時室蘭には八木と親交のある文学関係者がいなかったため、八木と同窓の旧制室蘭中学4・8会に相談して、八木との橋渡し役となつてもらつた。そのおかげで、手持ちの資料が少ない中、会期の迫つた設立期成会に、突然八木から「海明け」の生原稿をはじめ千点余りの文学資料が届けられた。文学展には、八木の初版本など貴重な資料が展示され、たくさんの市民が足を運び盛況に終わった。その時の大量の資料が、文学館開館の大きな弾みとなつたのである。

平成11年10月、同館の一部を改装し、更に八木から新たに提供された資料が加えられ『八木義徳記念室』は誕生したが、翌月それを見届け入れ替わるかのように八木義徳は亡くなった。そこには八木の生い立ちから、作家としての人生、作品全てが展示・保管されている。「港」の名を持つこの文学館は、ふるさと室蘭の自然、特に測量山とその周りの海に深い愛着を持つ八木の分身のようでもある。ここを訪れるといつても八木義徳に会えるのだ。

(協力・港の文学館)

## 人のうごき

(平成23年10月末)

人口 93,962(-87)

世帯 47,967(-15)

( )は前月比

固定資産税・都市計画税第4期  
12月26日まで

国民健康保険料・  
後期高齢者医療保険料第7期  
介護保険料第7期  
1月4日までに納めましょう

## 編集後記



▶そば打ちは、最初の「水回し」が肝心。そして、打ちたてのそばをその日のうちに食べるのが大事。ということで、私もいただきました。おいしかったあ〜。愛好会の皆さん、ごちそうさまでした！(t)

▶室蘭でも初雪が観測され、とうとう本格的な冬が到来。温かい鍋と熱燗がおいしい季節がまたやってきましたね。12月は室蘭でもイベントがめぐる押し。寒さなんて楽しさで吹き飛ばそう。(こな)

▶ちまたで密かなブームになっている地球岬の満月。少し時期外れだったが、初めて見に行き撮影に挑戦。「動かないし簡単だろう」と思いきや…絞りや露出時間の調整がかなり難しい！まだまだ未熟。(お)

▶月に一度の「母恋駅を愛する会」。秋晴れに「マリオン少年少女合唱団」の澄んだ歌声が響き、電車の乗降客も足を止める。小さな駅いっばいの聴衆が拍手。継続した活動が地域に根ざし、地域を明るく照らす。(コ)

▶先月号の特集「坂」に対し、多くの反響。知っている人にとっては当たり前の企画かと心配したが意外と好評。室蘭を知り郷土愛が増してくると私達もうれしい。また、今年1年間のご愛読に感謝。(え)

# 地域の力

## 社会福祉協議会 雪かきレンジャー



高齢者宅の雪かき作業に汗を流す「雪かきレンジャー」

## 雪かきで地域の力に

雪が降っても心配しないです。高齢者にとって、冬場の雪かきは大きな悩みの種。そこで、社会福祉協議会では、雪かきの応援を必要としている高齢者と手助けできる人を結びつける取り組みを提案。有償ボランティアの雪かきレンジャーを募集し、昨シーズンの冬に始動した。水元町、高砂町5丁目、天神町で試験的に実施。玄関から道路までの雪かきで、1回30分程度で500円。登録した63人の雪かきレンジャーがそれぞれ高齢者宅の雪かきに汗を流した。

「初めは大変かなと思いましたが、助かるよ」と言ってもらえると、とてもうれしいです。雪かきレンジャーがいるから、大雪の日でも安心と思ってもらえるといいですね」と雪かきレンジャーの一人は話す。

今シーズンは、さらに高砂町3・4丁目と大沢町1丁目、母恋南町も対象地区となり、より多くの雪かきレンジャーを必要としている。雪かきレンジャーの増員とともに、さらに対象地域を拡大していく予定だ。

「雪かき、手伝うよ」という声をお待ちしています」と同協議会の工藤さんは呼びかけている。あなたも雪かきレンジャーになって、地域の力になりませんか。詳細は、社会福祉協議会(☎22-1-8050)までお問い合わせを。

## むろらん

2011年12月1日 No.969

### ■今月の表紙

現在、会員24人で活動する室蘭手打ちそば愛好会。月2回のそば打ちを楽しむ他に、高校などに出向いて教えることも多い。作ったそばを家族や近所の人喜んで食べてくれるのがうれしいと、真剣にそばを打つ。

### ■発行・編集

北海道室蘭市市民対話課  
〒051-8511 室蘭市幸町1-2  
☎ 0143-25-2193  
☎ 0143-25-2835  
HP <http://www.city.muroran.lg.jp/>

### ■印刷

日光・福山印刷特別共同企業体